

CAPTER 5

データの送信

本章では、クライアントからサーバにデータを送信する方法を学びます（図 5.1）。受信する方法は 6.2 節 (p.52) で説明します。

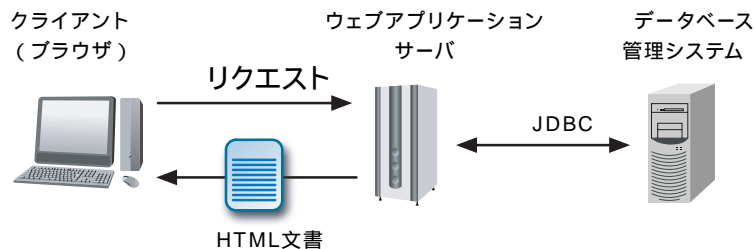


図 5.1 本章で学ぶこと：データ送信の送信方法

❶ 付録 C を参考に XAMPP をインストールしてから先に進んでください。

5.1 サーバの準備

データの送信方法を試すためにはまず、受信する側（図 5.1 のウェブアプリケーションサーバ）を用意しなければなりません。次のようなファイル RequestedParameters.jsp を \$CATALINA_HOME/webapps/ROOT に置いてください。CATALINA_HOME というのは Tomcat をインストールしたディレクトリのことで、Windows では「C:\xampp\tomcat」あるいは「C:\Program Files\xampp\tomcat」、GNU/Linux では「/opt/lampp/tomcat」、Mac OS X では「/Applications/xampp/xamppfiles/tomcat」になります¹⁾。

受信側のプログラムの書き方を学ぶのは次章以降なので、この段階では意味がわからなくてもかまいません。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<%@ page language="java" contentType="text/html; charset=UTF-8"
import="java.util.*"%>
<%@ taglib prefix="c" uri="http://java.sun.com/jsp/jstl/core" %>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
```

1) Windows では \$CATALINA_HOME ではなく %CATALINA_HOME% のように参照するのですが、本書では特に区別しません。

```

<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
<title>Requested Parameters</title>
</head>
<body>
<table>
<tr><th>name</th><th>value</th></tr><%
  for(Enumeration e=request.getParameterNames();e.hasMoreElements();){
    String name=(String)e.nextElement();
    for(String value:request.getParameterValues(name)){%>
      <tr>
        <td><c:out value="<%=new String(name.getBytes("ISO8859_1"),"UTF-8") %>" /></td>
        <td><c:out value="<%=new String(value.getBytes("ISO8859_1"),"UTF-8") %>" /></td>
      </tr><%>
    }
  }%>
</table>
</body>
</html>

```

5.1.1 サーバの起動

Tomcat を起動して, \$CATALINA_HOME/webapps/ROOT に置いた RequestedParameters.jsp を利用可能にします。起動方法は次の通りです。

Windows : %CATALINA_HOME%\bin\startup.bat を管理者権限で実行します。Windows ファイアウォールの警告に対して、「ブロックを解除する」をクリックします。(コントロールパネルで設定することもできます)。うまく動かないときは、コマンドプロン



図 5.2 Tomcat の起動画面